講師略歴



主な研究業績

株式会社潜水技術センター代表取締役 医学博士 望月 徹

埼玉医科大学名誉教授故梨本一郎先生のもとで潜水医学の研究を始める。 主な研究テーマは、予防医学の観点から超音波ドップラー気泡検知法を用い た減圧症発症リスクの評価とその発症メカニズムの解明。現在、株式会社潜 水技術センター代表取締役、東京慈恵会医科大学医学部非常勤講師、埼玉医 科大学社会医学非常勤講師、潜水士試験検討委員会委員、日本高気圧環境・ 潜水医学会評議員、日本産業衛生学会代議員、日本衛生学会認定衛生学エキ スパート。

[論文等]

- ・望月 徹. 圧気土木作業における酸素の利用. 日本臨床高気圧酸素・潜水医学会雑誌. 2019
- ・望月 徹. 圧気及び潜水作業における減圧障害の現状. 日本高気圧環境・潜水医学雑誌. 2017
- ・望月 徹、池田知純ほか、高所ダム湖における大深度潜水作業、日本高気圧環境・潜水医学会雑誌 2016
- ・望月 徹. 減圧ストレスと疲労の関係. 日本高気圧環境・潜水医学雑誌. 2015
- ・望月 徹、池田知純ほか、高気圧曝露後の血小板数の変化と疲労、日本高気圧環境・潜水医学会雑誌 2013
- ・望月徹、池田知純ほか、気体分離膜を利用した作業潜水用窒素酸素混合ガス製造供給装置の開発、日本高気圧環境・潜水医学会雑誌 2006
- · Mochizuki T, Ikeda T, Kobayashi K, Yanagisawa H. Decompression stress following multi-day diving: A preliminary study. UJNR 2008
- · Mochizuki T, Kanda H, Sterk W, Nashimoto I. Remotely controlled unmanned caisson excavation method. The 2nd International Conference on Engineering and Health in Compressed Air Work, British Tunnelling Society. 2003

[学会発表]

- ・望月 徹,鈴木信哉ほか.現場における減圧障害の実態に関するアンケート調査.第 55 回日本高気圧環境・潜水医学会学術総会. 2021.
- ・望月 徹,池田知純,柳澤裕之.ドップラー気泡検知法を用いた圧気潜函作業のサポート.第 54 回日本高気圧環境・潜水医学会学術総会.2019.
- ・望月 徹、池田知純、柳澤裕之。水上減圧法の運用管理。第53回日本高気圧環境・潜水医学会学術総会。2018.
- ・望月 徹、池田知純ほか、高所大深度ヘリウム混合ガス潜水作業における減圧症リスクの評価、第90回日本産業衛生学会、2017.5.
- ・望月 徹,池田知純ほか、高所ダム湖における大深度潜水作業、第51回日本高気圧環境・潜水医学会学術総会、2016.
- ・望月 徹. 圧気や潜水作業における減圧障害の現状. 第 51 回日本高気圧環境・潜水医学会学術総会. 2016..

- ・望月 徹, 宮崎 孝ほか. 減圧ストレスと疲労の関係. 第49回日本高気圧環境・潜水医学会学術総会. 2014.
- ・望月 徹、池田知純ほか、高気圧曝露後の血小板数の変化と疲労、第48回日本高気圧環境・潜水医学会学術総会、2013.
- ・望月 徹、池田知純ほか、唾液を用いた減圧ストレスの評価. 第47 回日本高気圧環境・潜水医学会学術総会、2012.
- ・望月 徹、池田知純ほか、高気圧曝露の疲労への影響. 第 46 回日本高気圧環境・潜水医学会学術総会、2011、
- ・望月 徹,池田知純ほか、潜水作業における労動災害の実態について、第83回日本産業衛生学会、2010.
- ・望月徹、池田知純ほか、潜水作業の安全に関するアンケート調査(1)我が国における潜水土木作業の実態、第81回日本産業衛生学会、2008、
- ・望月 徹、池田知純ほか.連続した潜水が体内気泡形成に及ぼす影響について. 第43回日本高気圧環境・潜水医学会学術総会.2008.
- ・望月 徹、池田知純ほか、減圧障害受入れ可能施設の調査、第42回日本高気圧環境・潜水医学会学術総会、2007、
- ・望月 徹、池田知純ほか、港湾潜水作業への窒素酸素混合ガス潜水技術の実用化について、第 40 回日本高気圧環境医学会学術総会、2005.
- · Mochizuki T, Ikeda T, Nashimoto I. Development of onboard compact enriched air nitrox(ENAx) supplying system for deep harbor diving: Continuous gas supply using permeable membrane gas separation method. UJNR. 1999
- Mochizuki T, Ikeda T, Nashimoto I. Modification for onboard use of the system to supply enriched air nitrox using permeable membrane gas separation system. UJNR. 2001
- · Mochizuki T, Ikeda T, Kobayashi K, Yanagisawa H. Decompression stress following multi-day diving: A preliminary study. UJNR. 2008

[出版物等]

- ・望月 徹(編著). 潜水士テキスト(第7版).中央労働災害防止協会. 2021.
- ・望月 徹. 潜水士試験問題集(第4版).中央労働災害防止協会. 2020
- ・望月 徹、稲垣哲郎、梨本一郎、潜水業務における安全性向上へ、安全スタッフ、労働新聞社、2000